

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和6年 1月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 名古屋緑教室 保護者等数(児童数) 20人 回収数 18人 割合 90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1			子どもたちが動き回れるスペースが確保されている。		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16			2	足りていると思う。 子どもたちに丁寧に対応してくれる。		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2		5			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18				デイサービス計画も保護者の希望が反映されて作成されている。		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	2			興味がわくような魅力的な内容になっている。 野外活動が増えるといい。		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	1	11			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1		1	支援内容は説明がされ、質問に対しても迅速に対応がなされている。		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18				初めてできたこと、今日の様子を連絡帳以外でも口頭で伝えてくれるので、デイでの様子が分かりやすい。		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18				悩みや不安等、話した時どうしたらいいのかアドバイスや一緒に考えてくれるので助かっている。		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				9	9	父母の会や保護者会はないが、特に問題ない	必要かどうか、まずはアンケートを取る。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		1	11	特に苦情についての話がない。		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1			行き届いた心配りを感じている。		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14				4		
14 個人情報に十分注意しているか	13				5			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	2		4	利用開始の時に説明を受けている。 特に日頃保護者が目にするものがないのでわからない。		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			1			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18				送迎車に早く乗り込みたいほど、楽しみにしている。 気分にもうがある。		
	18 事業所の支援に満足しているか	18				おでかけイベントの日などは、様子を画像で見れるといい。 子どもの特性に合わせて理解してくれている。		

249 11 11 53

77%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら 名古屋緑教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	教室内は広く、十分スペースは確保されている。掃除。	2単位になったら狭いかもれない。
	2	職員の配置数は適切である	10	0		人数としては適切だと思うが、児童指導員の数が土日は不足だと感じている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	0	教室が2階にあるが、エレベーターを使うこともでき、教室内の段差もない。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	1日を振り返り、気になったこと、問題点を職員で話し合う時間を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	日々、保護者とのコミュニケーションを大切に、送迎の際日々の様子を伝え、様々な事を共有できるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	様々な研修に積極的に参加している。	機会はありますが、平日の午後や土日など、参加しにくい時間が多い印象。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	絵カードを使う。Ss20の活用等。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	音楽・運動・工作・感覚と、4つに分け均等に曜日ごとに振り分けている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	季節に合わせたものを考えたり、土日や長期休みにはお出かけのプログラムをいれたり、子どもたちが楽しく過ごせるように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	活動の所要時間等考慮し、決定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	個別活動が、本人のやりたいことを優先して、しまいがちの為、その中でも計画目標に沿うよう、支援していく必要があると思う。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	重点的にフォローが必要なこと等、全員で共有し、声を掛け合っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	休みだった日も業務日誌や職員から話を聞き、情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	業務日誌を書いて確認している。自分が欠席した日も支援内容を引き継ぐ事ができると思う。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0			
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	0	該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6		就学前に利用していた園や事業所等との間で、情報共有はあまりできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0	該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		お出かけのプログラムで児童館等を利用している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0		実績にサインを頂く際、1日の様子や保護者が連絡帳に書いてくださる事のお聞きするなど、行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0		保護者からの相談に柔軟に対応し、アドバイスをを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		父母の会が必要か、まずはアンケートをとるところから始めるべきかと思われる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		月に1回のこぼん新聞を発行。連絡ツールを通しての発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	10	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		ジェスチャーや絵カードを必要に応じて用いて、意思疎通を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		こぼんの夏祭りにお誘いしたが、申し込みがなかった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0		プログラムで月に1回以上の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		虐待防止委員会の設置。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0		個別支援計画への記載。 記載や説明はしているが、できるだけ(0に近い)身体拘束を行わずに支援できる方法を日々模索。その場の対応がベストだと思わず、事案をもとに防止策・対応策を考える。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0		現在医師の指示があるほどのアレルギーを持った対象者はなし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0		事例に加え、対処方法を記し、共有。